



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月6日

上場会社名 前澤給装工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6485 URL http://www.qso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎武壽
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部経理部長 (氏名) 前田 近 TEL 03-3716-1512
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,023	1.3	245	△8.8	270	△10.5	150	△0.8
24年3月期第1四半期	4,957	9.3	269	26.4	301	33.7	152	14.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 112百万円 (△12.1%) 24年3月期第1四半期 127百万円 (218.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	12.54	—
24年3月期第1四半期	12.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	34,890	27,392	78.5	2,276.21
24年3月期	35,554	27,520	77.4	2,286.87

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 27,392百万円 24年3月期 27,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,180	1.3	850	8.2	900	5.7	510	9.8	42.38
通期	23,300	1.5	2,270	22.9	2,350	18.9	1,340	25.5	111.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	12,500,000株	24年3月期	12,500,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	465,870株	24年3月期	465,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	12,034,130株	24年3月期1Q	12,034,130株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想については添付資料のP. 2を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政策効果から住宅投資や個人消費は緩やかに持ち直しの動きを示してまいりましたが、欧州債務問題の長期化に伴い、欧米諸国や中国など新興国の経済は減速感を強め、海外経済の低迷から円高が定着するなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する給水装置業界におきましては、東北地域を中心とした住宅復興の需要のほか、都市圏で分譲マンションの着工が増えたことなどが全体を押し上げ、新設住宅着工戸数は前年同期を上回っております。

このような環境下、当社グループは、水道事業体の耐震化に向けた取組みに合わせ、施工性と耐震性を確保した製品の販売を強化するとともに、水道メータや暖房部材の販路拡大に努めてまいりました。

これらの結果、売上高につきましては、前年同期比1.3%増の50億23百万円となりました。利益につきましては、樹脂原材料価格の上昇や設備投資の増加に伴う償却負担などにより、経常利益は前年同期比10.5%減の2億70百万円となりました。

② セグメント別の状況

〔埋設事業〕

埋設事業におきましては、前年の被災地向けの復旧資材や仮設住宅向け部材の需要は減少いたしました。水道配水用ポリエチレン管付サドル付分水栓などの耐震化製品、ステンレス製品や水道メータの販売が増加したことにより、売上高は、前年同期比4.1%増の30億50百万円、セグメント利益は、前年同期比0.8%増の8億17百万円となりました。

〔地上事業〕

地上事業におきましては、新設住宅着工戸数の増加に伴い、給水・給湯配管部材などの販売が堅調でありましたが、前年需要の多かった仮設住宅向け配管ユニットなどの売上が減少した影響により、売上高は、前年同期比1.5%減の9億91百万円、セグメント利益は、樹脂原材料価格の上昇も加わり、前年同期比4.0%減の2億18百万円となりました。

〔商品販売事業〕

商品販売事業におきましては、前年の被災地向け復旧資材の需要の反動から、売上高は、前年同期比8.4%減の8億51百万円、セグメント利益は、前年同期比3.7%増の98百万円となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更により、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益にあたる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,028	10,091
受取手形及び売掛金	9,318	8,461
有価証券	499	499
商品及び製品	2,799	3,113
仕掛品	51	87
原材料及び貯蔵品	783	772
繰延税金資産	135	157
その他	160	129
貸倒引当金	△17	△15
流動資産合計	23,760	23,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,737	2,704
機械装置及び運搬具（純額）	974	919
土地	5,030	5,073
建設仮勘定	2	7
その他（純額）	157	155
有形固定資産合計	8,901	8,860
無形固定資産		
投資その他の資産	62	59
投資有価証券	1,631	1,477
長期貸付金	15	14
保険積立金	1,028	1,036
繰延税金資産	3	2
その他	201	158
貸倒引当金	△49	△16
投資その他の資産合計	2,830	2,672
固定資産合計	11,793	11,593
資産合計	35,554	34,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,872	5,548
未払法人税等	491	138
賞与引当金	194	332
役員賞与引当金	36	4
その他	717	805
流動負債合計	7,312	6,828
固定負債		
繰延税金負債	97	54
退職給付引当金	523	512
資産除去債務	4	4
その他	96	98
固定負債合計	721	669
負債合計	8,033	7,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,358	3,358
資本剰余金	3,711	3,711
利益剰余金	20,784	20,694
自己株式	△694	△694
株主資本合計	27,159	27,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	580	476
為替換算調整勘定	△219	△154
その他の包括利益累計額合計	360	322
純資産合計	27,520	27,392
負債純資産合計	35,554	34,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,957	5,023
売上原価	3,509	3,575
売上総利益	1,447	1,447
販売費及び一般管理費	1,178	1,201
営業利益	269	245
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	19	14
貸倒引当金戻入額	1	3
スクラップ売却益	14	9
雑収入	4	6
営業外収益合計	41	36
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	5	5
為替差損	0	6
社債保証料	1	—
雑損失	0	0
営業外費用合計	9	11
経常利益	301	270
特別損失		
固定資産除却損	0	2
災害義援金	15	—
特別損失合計	15	2
税金等調整前四半期純利益	286	267
法人税等	134	116
少数株主損益調整前四半期純利益	152	150
四半期純利益	152	150

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152	150
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△57	△103
為替換算調整勘定	32	64
その他の包括利益合計	△24	△38
四半期包括利益	127	112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127	112

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	埋設事業	地上事業	商品販売 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,930	1,006	929	4,865	92	4,957	—	4,957
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	94	5	100	275	376	△376	—
計	2,930	1,100	935	4,966	367	5,334	△376	4,957
セグメント利益	810	227	94	1,133	37	1,170	△900	269

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△900百万円は、セグメント間取引消去5百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△906百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	埋設事業	地上事業	商品販売 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,050	991	851	4,893	130	5,023	—	5,023
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	105	3	108	234	343	△343	—
計	3,050	1,096	854	5,001	365	5,367	△343	5,023
セグメント利益	817	218	98	1,134	31	1,165	△919	245

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△919百万円は、セグメント間取引消去6百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△926百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。